

VISTA シリーズニュース

札幌コンサートホール Kitara 様

VISTA V-32F



大ホール、小ホールに VISTA V を採用

1997 年にオープンした札幌コンサートホール Kitara は今年で 18 年目を迎え、この度大ホール、小ホールの音声卓の更新をしました。音楽専用ホールであり、美しい音の響きや繊細さを追求するこのホールでは、会館内全ての音に厳しい条件が要求されます。

昨今、SR の世界でもデジタル化が定着し、サンプリング周波数は 96kHz が一般化、数字に現れない演奏者のリアルな感性をも伝える「音」の質も重要です。また、Kitara では二度とないリアルなライブを提供するため、トラブルに強く、万が一の場合にも回避できる設備が求められました。このような条件を満たし、STUDER 製 VISTA V が導入されました。VISTA シリーズは年代毎に、技術の進化と共に処理能力を積み重ね、以前では 96kHz の運用では限定的だった機能も Infinity Core のケタ違いの処理能力により克服しており、リダンダント機能は 2 つのコアの完全並行処理により明確です。そして、STUDER の音声処理アルゴリズムの動的な特性・感性のクオリティの高さが Kitara の音を支えています。

